

共創文化学部・観光文化学部・空間デザイン学部 博物館学芸員養成課程科目

| | | | | | | | | | | |
|---------------|--------------|---|--|---|---|---|--|--|--|-----|
| ディプロマ ポリシー | 全学DP | 自立した現代女性にふさわしい教養力と人間性の養成 | | 自己実現のためのコミュニケーション力と社会性の養成 | | 社会的責務を果たすことのできる専門力と判断力の養成 | | 文化の創造的担い手となるための技術力と実践力の養成 | | |
| | | | | | | | | | | |
| 学修指針・学修到達度 | 到達度Ⅰv4 | 【関心・分析・探求・自立】 広く社会・自然・人間について多角的な知見を有し、論点を整理しながら、解決へ向けて確実に探求し続けることができる。 | 【遵守・忠告・道徳・倫理】 社会的ルールを遵守しつつ、仏教をはじめとして、人間存在に関する深い洞察を学び、人格的向上を目指すことができる。 | 【会話・弁論・論述・共感】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、高度な内容を、読者の反応を予想しつつ的確で効果的な表現を用いつつ文章化したりすることができる。 | 【社会・参加・公共・責任】 現代社会の仕組みを深く理解し、自立した社会人としての責任感を身につけ、ボランティア活動など、社会をよりよくするための活動に参加することができる。 | 【基礎・応用・実践・自学】 専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、新たな知見を求めて自らすすんで学習活動を維持することができる。 | 【批判・論理・証拠・発展】 授業や書物等から得た知識について、実証的に、論理的に批判し、その批判から新しい独自の考えを育てていくことができる。 | 【基礎・応用・実践・自学】 各専門分野に必要な高度な技術力を修得し、それに見合う各種資格等を取付け、さらに自らの技術を磨きつづけようとするることができる。 | 【発見・模索・計画・解決】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、自分なりの方法論を駆使して、計画性をもって解決にまで導くことができる。 | |
| | 到達度Ⅰv3 | 【関心・分析・探求】 広く社会・自然・人間について、多くの情報を適切に取捨選択しながら整理し、問題意識を深めていくことができる。 | 【遵守・忠告・道徳】 多くの社会的価値観に触れ、柔軟なものを見方を身につけたうえで、社会的ルールの基となる人間性に気付くことができる。 | 【会話・弁論・論述】 自らの考えを論理的に口頭で説明したり、読者の反応を予想しつつ、的確な表現を選びながら文章にまとめたりすることができる。 | 【社会・参加・公共】 現代社会の仕組みを理解したうえで、よりよい社会を目指して一市民として社会活動に参加しようとするすることができる。 | 【基礎・応用・実践】 専門分野に関する深い知識を有し、当面する諸問題に適切に応用しつつ、自分なりの発見を目指そうとすることができる。 | 【批判・論理・証拠】 授業や書物等から得た知識について、その反証となる実例を挙げつつ、論理的に批判することができる。 | 【基礎・応用・実践】 専門分野の技能に習熟したうえで、各種資格等を取付けたり、各種検定等に合格したりすることができる。 | 【発見・模索・計画】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決法を考え、解決に向けて実行すべき手順を把握することができる。 | |
| | 到達度Ⅰv2 | 【関心・分析】 身の回りの事象について、複数の資料に目を通し、問題点を整理することができる。 | 【遵守・忠告】 自身の健康に気を配り、社会のマナーやルールを守り、自分の周囲の人々の行動にも配慮することができる。 | 【会話・弁論】 自らの考えをわかりやすく口頭で説明したり、簡潔な表現で文章にまとめることができる。 | 【社会・参加】 政治や経済など、現代社会の仕組みを理解し自分なりに問題点を見出すことができる。 | 【基礎・応用】 専門分野に関する知識を備え、各種の知識を自らが当面する問題に応用することができる。 | 【批判・論理】 授業や書物等から得た知識について、論理的に矛盾点を見出し批判することができる。 | 【基礎・応用】 専門分野で必要とされる基本技術を応用し物事に対応することができる。 | 【発見・模索】 自らすすんで眼前の問題と向かい合い、解決を求めて模索することができる。 | |
| | 到達度Ⅰv1 | 【関心】 身の回りのさまざまな事象について、関心を持つことができる。 | 【遵守】 自身の健康に気を配り、社会のマナーや集団でのルールを守ることができる。 | 【会話】 自らの考えを口頭で説明したり、メモにまとめたりすることができる。 | 【社会】 現代社会の仕組みに関する程度説明することができる。 | 【基礎】 専門分野に関する概念や専門用語が理解できる。 | 【批判】 授業や書物等から得た知識について批判的に対することができる。 | 【基礎】 専門分野で必要とされる基本技術を身につけることができる。 | 【発見】 眼前にある課題に対して、その問題点を把握することができる。 | |
| | 学年 | 学修指針 | 教養力 | 人間性 | コミュニケーション力 | 社会性 | 専門力 | 判断力 | 技術力 | 実践力 |
| 省令必修科目 | 1 | 博物館概論 | △ | | | | ◎ | ○ | ◎ | |
| | 2 | 博物館資料論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 2 | 博物館展示論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 3 | 博物館資料保存論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 3 | 博物館経営論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 2・3 | 博物館教育論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 2・3 | 博物館情報・メディア論 | | | | | ◎ | ○ | ◎ | △ |
| | 2 | 博物館実習A（見学実習） | | | △ | | | ○ | ◎ | ◎ |
| 3 | 博物館実習B（実務実習） | | | △ | | | ○ | ◎ | ◎ | |
| 4 | 博物館実習C（館園実習） | | | △ | | | ○ | ◎ | ◎ | |